

『一生懸命』幻の新座市議会報告第9弾!



たかむらともや

消費増税

いよいよ来年の4月からの消費税増税が現実味を帯びてきました。消費税が3%上がるということは事業者にとって、どういうことなのか…。消費税といいながら、納税義務者は事業者にあるのですから、これは大変なことです。仮に3000万円の売り上げがあったとしても、仕入れや人件費に3000万かかれば、儲けは0円です。それでも売り上げの3000万円に5%の税金がかかる。それが消費税です。今までは150万だった消費税が240万になるのです。1円の儲けがなくても240万納税する。それが消費税の怖さなんです。大企業のように本当に儲かっているところの法人税は下げ、小さな事業所からは儲かってなくても搾り取る。それが消費税の正体です。消費者も3%上がれば大変ですが、我慢して高いものは買わないという選択ができます。給料が上がっていれば買う事はできるかも知れませんが、国民の平均給料はどんどん下がっています。無い袖は振れないので、当然、消費は冷え込んでいきます。一方で、消費税には仕入れ税額控除というものがあります。仕入れに払った消費税を控除するシステムですが、正社員の給与はその対象になりません。しかし、派遣社員であればその対象になります。そこで、大企業はどんどん正社員を派遣社員にしていくのです。さらに輸出戻し税というシステムがあります。海外の消費者に日本の消費税を払わせることはできません。輸出による所得に消費税はかかりませんが、その仕入れにかかった消費税は還付される仕組みがあるのです。2010年度のトヨタの還付金は2200億円というから半端ではありません。大企業の下請けは消費税分を飲まされて納入しないと契約を打ち切られてしまう関係にあります。消費税は強いものに有利に働き、弱い者には不利に働きます。消費税を上げないと大変だ!」と煽る人たちの顔を見て下さい。新座市に大企業はありません。新座市で頑張っている小さな事業所を守る為にも消費税増税には反対しなければならないのです。

2013年 9月 30日発行



普段の駅立ちでも、4年に1度の選挙の時も半袖、短パンやジャージという格好ですが、市役所ではどんなに暑い時でもネクタイはしています。これは委員会での一こま。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。

たかやんは五中の教え子達がつけてくれたあだ名。

教育を語らせたら、止まらない男」。東京青山で生まれ、新宿で育つ。新宿区立西戸山中学校で河合隆慶

先生との運命の出会いがあり、超悪ガキが勉強を始める。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指し始め、猛勉強。北大を奇跡的に卒業し、いきなり五中の一期生、3年4組を担当する。1981年、NHKの「おはよう広場」にあの尾木ママと出演。五中の1年2組が紹介された。

趣味は子ども達と一緒に勉強すること。現在、糖尿病と格闘中。日々5キロ走り、トレーニングを積んでいる。今はテニスにのめり込み、年齢別の日本一を目指している。好きな女優はハン・ヒョジュ。本田翼。

8月31日現在、身長175cm、体重69kg、体脂肪率15%。小さい頃、絶対になりたくなかったものは「教師」と「政治家」と「PTA会長」(笑)

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 涙

今月14日(土)は市内5校の体育祭。僕は六中・三中・五中の三つの学校に行きました。今も昔も体育祭に涙はつきものなのですが・・・今年も泣かせてもらいました。五中でも六中でも二中でも子ども達と一緒に体育祭に燃えていた教師だったからからかも知れません。中学生の本質は今も昔も何も変わっていない・・・そう思いました。



写真は五中赤団の演技です。昔は毛布を使って人間を打ち上げましたが、この日は人の力で打ち上げていました。そして下の写真のピラミッド。団長が赤い旗を振ったところで涙が出ました。やるなあ、五中生。僕らが作ってきた応援団の伝統をちゃんと受け継ぎながら、新しいものを作り出している彼らに感動しました。同じ五中人として、誇りに思います。



”光があります 豊かです みどりがあります ずかです 流れがあります 綺麗です”

神さん！神さんが五中の子達に教えた校歌は今も五中の校庭で響き渡っているよ。神さんの魂は五中の子ども達にちゃんと受け継がれていますよ。

③ ライバル



赤団の素晴らしい演技の裏にはライバル黄組の素晴らしい演技がありました。黄組統率のとれたチームワークがあったからこそ、赤団はそれに負けまいと練習を繰り返し、この演技に繋がったのです。五中の紅白の応援団の伝統はそういう意味でも立派に生きていました。新座の全ての中学生が体育祭で泣く。先生達も親も感度して泣く。そういう日が来る事を願っています。

③ 背中



五中でも六中でも先生達の背中から子ども達への愛が感じられました。そして、体育祭を成功させるんだ！という気合が感じられました。五中を愛し、六中を愛してきたことは誰にも負けません。誰が何と言っても、僕が一番愛してきた！と言い切ることができます。五中の10年間、そして六中の10年間は僕の宝物でした。五中の子ども達、六中の子ども達が僕の宝物なのです。その思いが、後輩の若い先生達に受け継がれている。そう感じた時、また涙が出てきました。三中にも僕が愛した教え子がちゃんと僕の背中を受け継いでくれています。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(__)m